

家畜衛生広報

佐久 2022_No.12



しあわせ信州

佐久家畜保健衛生所

〒385-0035 佐久市瀬戸中庭1111-179

TEL:0267-62-4123 FAX:0267-63-3002

東信家畜産物衛生指導協会

令和5年3月15日

公共牧場を活用して良い牛を育てましょう！

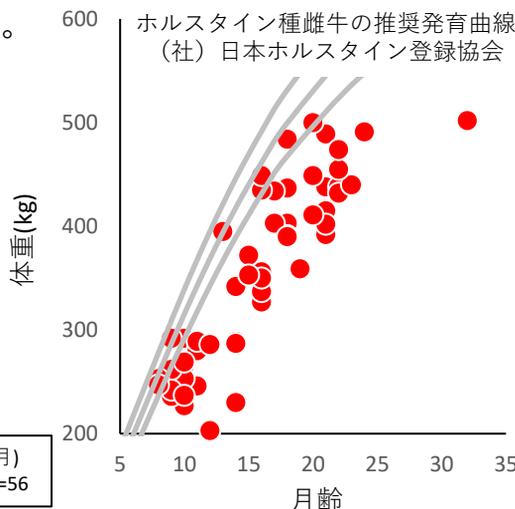
1 入牧前にしっかりと牛を育ててから牧場へ

- ・ 昨年の放牧検査では発育不良の牛が多く見られました。
- ・ 発育不良の牛は入牧後も発育が遅れます。
- ・ 放牧前にしっかりと牛を育てましょう。
- ・ 事故防止のためあらかじめ環境に慣らしましょう。
(青草の給与、削蹄の実施、パドック放牧など)
- ・ 皮膚病などはあらかじめ治療をすませましょう



© 2020 Japan Dairy Council

入牧時の体重 (R4.6月)
ホルスタイン種, 雌, n=56



2 牛伝染性リンパ腫(EBL)と牛ウイルス性下痢(BVD)検査を実施しましょう

●入牧前にEBL (旧:牛白血病)・BVDの検査を実施しましょう。

- ・ 入牧に検査が必要な牧場の採血日程は牧場開設者が調整します。
- ・ 採血は入牧約1か月前を予定しています。放牧予定牛のリストアップをお願いします。
- ・ 詳細は牧場開設者または家保にお問い合わせください。

●BVD検査も併せて実施して持続感染牛(PI牛)を早期摘発しましょう。

- ・ PI牛が放牧場に入るとBVDウイルスを絶えず排出して、感染源になります。
- ・ BVDは呼吸器病、下痢、異常産、繁殖障害、新たなPI牛の娩出などを起こします。



3 呼吸器病予防のためワクチン接種をしましょう

- ・ 公共牧場は様々な農家から牛が集まるため、呼吸器病がまん延しやすい環境です。
- ・ 特に呼吸器病は、子牛の発育を遅延させる原因となります。
- ・ 放牧予定牛には呼吸器病の感染や発症予防のため予めワクチンを接種しましょう。
- ・ 入牧1か月～2週間前までにワクチン接種をお願いします。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

[長野県は「SDGs未来都市」です]

4 質の高い教育を
みんなに



— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —

学びと自治の力で拓く新時代

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)推進中